

平成 31 年 1 月 24 日
東京都ミニバスケットボール連盟
川畑 睦

平成 30 年度 関東ミニバスケットボール大会 派遣報告書

大会名	第 40 回 関東ミニバスケットボール大会
期間	平成 31 年 1 月 4 日 (金) ~1 月 6 日 (日)
会場	千葉県総合スポーツセンター体育館 千葉ポートアリーナ
講師	千葉県バスケットボール協会 審判委員会 指導強化部 三好 啓太 氏 中嶽 希美子 氏 中島 弘幸 氏 久保 あしみ 氏

日程	時間	スケジュール
1 月 4 日 (金)	17 : 00	審判員会議
1 月 5 日 (土)	8 : 10	審判受付
	8 : 30	1 日目審判講習会 開講式
	9 : 00	競技開始
	15 : 00	競技終了
	15 : 15	1 日目閉講式
1 月 6 日 (日)	8 : 10	審判受付
	8 : 30	2 日目審判講習会 開講式
	9 : 00	競技開始
	15 : 00	競技終了
	15 : 15	2 日目閉講式
	15 : 30	解散

参加 チーム	東京都	【男子】GROWTH LEGEND 城東 【女子】陶鎔 国分寺 MBBC
	神奈川県	【男子】川上北ブルーデビルズ 森の台ビクトリー 【女子】武山 大正
	埼玉県	【男子】越谷ウインズ 鳩ヶ谷桜 【女子】所沢ライオンズ 幸松
	群馬県	【男子】沼田北 伊勢崎あずま南 【女子】箕郷 MBS みどり笠東
	茨城県	【男子】大洗 菅谷東 【女子】十王 龍ヶ崎
	栃木県	【男子】姿川第二 峰 【女子】宮の原 城山
	山梨県	【男子】八代 WEST BOYS 【女子】山中湖東 敷島南
	千葉県	【男子】八栄 海神南 鴨川 習台二 【女子】百合台 浦安高須 国分寺台 ジュニアファイブ

講義 千葉県バスケットボール協会 審判委員会 指導強化部 中島 弘幸 氏

「2PO メカニクスの確認」

初日の講義では基本的な 2PO メカニクスの確認と 2PO メカニクスでのクルーの協力について、及び JBA プレイコーリングガイドラインをもとに、想定されるゲーム中に起こり得るプレイについて、実際の映像を確認しながら、講義が行われた。

ミニバスケットボールの選手たちは「未来の B リーガー、WJBL 等のプロ選手」を目指す子供たちが沢山いる。ミニバスケットボールに関わる審判員は「正しい理解の元、正しい技術を教える」ことにより、子供たちに「夢への力添え」をする任務がある。

【メカニクス】

- ・2PO では 1 人の審判が 1.5 人分の役割を果たさなければならない。
- ・2PO では、エリア 3・4 間やエリア 5・6 間のスペースに関して 2 人の審判員からの距離が遠く、視野が重なりやすいため、プレゲームカンファレンスにて分担や引き渡しのタイミングについて決定しておく必要がある。トレイルではクロスステップやベネットレイトを用いて、リードであればスイッチサイドを用いるなどポジションやアングルを調整してプレイから遠くならないように心がける。アウトオブバンズの確認やアシストについても、試合を円滑に進行するために話し合っておく必要がある。

【プレゼンテーション】

- ・何事においても、ミニバスだからと曖昧にするのではなく、きちんと丁寧に吹くことが大切である。
- ・コーチの過度またはスポーツマンらしくないアピールについては毅然とした態度で対応を行い、試合の「商品価値の低下」を防ぐ。
- ・NF から UF にアップグレードする場合は、まずは寄って確認をする。
- ・UF は、C1 から C5 に当てはめて考慮する。「小学生だから、わざとではないからノーマルファウルにする」のではなく、C1 から C5 に当てはまるものについて、今後繰り返さないようにしていく必要がある。
- ・声を使って、パートナーや TO をアシストする。伝達するのに非常に有効な手段である。

【ガイドライン】

- ・FOM を見極めて判定をする。そのために事前に情報収取を行い、判定の材料として認識し、いかなる状況にも対応できる準備をしておく必要がある。
- ・ファウルの成立についてはクリーン・ザ・ゲームとするべく、マージナル or イリーガルを判定していく必要がある。
- ・スクリーンプレイ (①止まっていること、②両足が床についていること、③シリンダーの中であること)
- ・Block or Charge の判定を行い、インパクトの大きなコンタクトは必ず判定して笛が鳴らないことが無い様にしていく。
- ・プロテクトシューター (着地するまでを見極める)
- ・UF は、C1～C5 の確認を行い、ミニバスでは C4 と C5 は整合性を十分に確認することが必要である。

担当試合①			
カード	CC/U	パートナー	主任
【女子 予選リーグ】 百合台（千葉県 1 位） - 大正（神奈川県 2 位）	U	CC：仲井 順 氏 （栃木県）	中島 弘幸 氏 （本部）
ミーティング内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・2 人の協力としてお互いのエリアを丁寧にとらえることが出来ていた。 ・トレイルの際に、プレイヤーがエリア 3 でボールを保持している状態で、ディフェンスが積極的でなかったとしても、ターンオーバーなどの出来事に対処する必要があるため、リード審判に引き継いであるプレイだとしても、視野は少しでも残しておくよかった。 ・後半のショットファウルに対してエリア 5 であったため、リードのシングルコールだけでなく、トレイルからもコールし、ダブルコールとしたほうがより説得力があったのではないかと。 			

担当試合②			
カード	CC/U	パートナー	主任
【男子 予選リーグ】 川上北（神奈川県 1 位） - 越谷ウインズ（埼玉県 1 位）	U	CC：中嶽 希美子氏 （本部）	相木 康岳 氏 （千葉県）
ミーティング内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の担当エリアを丁寧に確認しながら試合を進めていたが、トレイルの位置が高くなってしまいプレイから遠ざかってしまうことがあった。プレイを見極めて、ポジションの調整が試合中にできるとよかった。 ・ピックマンがいるチームであったため、プロテクトシューターに対して、より丁寧に確認を行い、もう少しシビアに判定してもよかった。 			

担当試合③			
カード	CC/U	パートナー	主任
【男子 3 位リーグ】 森の台（群馬県 2 位） - WESTBOYS（山梨県 2 位）	U	CC：稲垣 英之 氏 （千葉県）	宇田川 晶彦 氏 （神奈川県）
ミーティング内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・ポストプレイヤーのオフenseファウルはよかったが、ポストアップが始まるオフボール状態からアングルを捉え、プレイを長く見ることができていればより良い判定になったのではないかと。 ・リードのポジションやアングルは悪くないが、プレイに対する予測のもと情報収集を行い、判定につなげていけるとよい。 			

担当試合④			
カード	CC/U	パートナー	主任
【女子 3 位リーグ】 箕郷（群馬県 1 位） - 山中湖東（山梨県 1 位）	U	CC：中野 準也 氏 （千葉県）	久保 あしみ 氏 （本部）
ミーティング内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・1 試合を通して、アイコンタクトや情報共有など 2 人で協力することが出来ていた。 ・トレイルの位置が高いことが多く、オフenseの背中越しにディフェンスをとらえることが多かった。レフェリーディフェンスの概念のもと、オフenseの背中越しではなくディフェンスを直接確認できる位置に行くことが必要である。 			

総合所感

今回、初めて関東ミニバスケットボール大会派遣の機会を頂き、普段経験することの少ないレベルの高い試合に緊張感を持ち、自分自身の課題を考えながら審判に取り組むことが出来ました。中島氏が話していた講義にもあった、2POメカニクスでの役割分担について意識を持ちながら試合に臨むことで、お互いの協力のもとに円滑な試合進行が行えることが実感できました。3日間で学んだことを自分自身で振り返りながら、成長していけるように努めて参ります。

最後になりましたが、今回の派遣にあたりお世話になりました開催地の千葉県の皆様、ご指導いただきました講師の皆様、他県審判員の皆様、派遣の機会を頂いた東京都の皆様に重ねて感謝と御礼申し上げます。ありがとうございました。

以上